



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社 スクウェア・エニックス・ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9684 URL <http://www.square-enix.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 洋祐

問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者 (氏名) 渡邊 一治

TEL 03-5292-8000

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	57,000	11.3	12,874	43.9	13,286	106.1	8,368	56.8
29年3月期第1四半期	51,193	21.1	8,949	13.1	6,446	△32.5	5,336	△11.1

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 8,617百万円 (139.4%) 29年3月期第1四半期 3,598百万円 (△44.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	68.56	68.45
29年3月期第1四半期	43.74	43.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	245,719	185,671	75.3	1,516.13
29年3月期	243,859	181,904	74.4	1,485.56

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 185,067百万円 29年3月期 181,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	10.00	—	30.00 ～38.00	40.00 ～48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	240,000 ～260,000	△6.6 ～1.2	25,000 ～30,000	△20.1 ～△4.1	25,000 ～30,000	△19.7 ～△3.6	16,500 ～19,500	△17.7 ～△2.7	137.60 ～162.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。また、第2四半期連結累計期間の業績予想については、開示していません。詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	122,383,296 株	29年3月期	122,373,396 株
30年3月期1Q	317,460 株	29年3月期	316,434 株
30年3月期1Q	122,060,424 株	29年3月期1Q	122,004,595 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成29年8月4日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、報告セグメントをデジタルエンタテインメント事業、アミューズメント事業、出版事業、及びライセンス・プロパティ等事業と定め、各々のセグメントにおいて、事業基盤の強化と収益力の向上に努めております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は57,000百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は12,874百万円(前年同期比43.9%増)、経常利益は13,286百万円(前年同期比106.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,368百万円(前年同期比56.8%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間の報告セグメント別の状況は次のとおりであります。

○デジタルエンタテインメント事業

ゲームを中心とするデジタルエンタテインメント・コンテンツの企画、開発、販売及び運営を行っております。デジタルエンタテインメント・コンテンツは、顧客のライフスタイルにあわせて、家庭用ゲーム機(携帯ゲーム機含む)、PC、スマートデバイス等、多様な利用環境に対応しています。

当第1四半期連結累計期間は、家庭用ゲーム機向けタイトルにおいて、パッケージ新作及び他社ソフトの販売が減少したため、前年同期比で減収となりましたが、「NieR:Automata」をはじめとする過去に発売したタイトルのダウンロードを中心としたリピート販売の好調により前年同期比で増益となりました。

スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいては、「ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス」、「星のドラゴンクエスト」、「ドラゴンクエスト モンスターズ スーパーライト」、「キングダム ハーツ ユニオン クロス」などの既存タイトルが好調に推移し、前年同期比で増収、増益となりました。

多人数参加型オンラインロールプレイングゲームにおいては、「ファイナルファンタジーXIV」の拡張版ディスクの発売によるディスク売上と、それに伴う課金会員数の増加により、前年同期比で増収、増益となりました。

当事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は44,168百万円(前年同期比17.7%増)となり、営業利益は13,724百万円(前年同期比44.9%増)となりました。

○アミューズメント事業

アミューズメント施設の運営、並びにアミューズメント施設向けの業務用ゲーム機器・関連商製品の企画、開発及び販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、店舗運営が堅調に推移したものの、アミューズメント機器の販売については新規タイトルの発売がなかったため、前年同期比で減収となっております。

当事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は8,988百万円(前年同期比13.2%減)となり、営業利益は659百万円(前年同期比20.7%減)となりました。

○出版事業

コミック雑誌、コミック単行本、ゲーム関連書籍等の出版、許諾等を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、前年同期と比較してコミック単行本の売上が堅調に推移しました。

当事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は2,298百万円(前年同期比2.0%増)となり、営業利益は563百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

○ライセンス・プロパティ等事業

主として当社グループのコンテンツに関する二次的著作物の企画・制作・販売及びライセンス許諾を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、自社コンテンツのキャラクターグッズ、サウンドトラック等の販売・許諾、他社の有力コンテンツのキャラクターグッズ化等が好調に推移いたしました。

当事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は2,159百万円(前年同期比52.3%増)となり、営業利益は584百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は209,474百万円となり、前連結会計年度末に比べ436百万円増加しました。これは主にコンテンツ制作勘定が7,054百万円増加したこと、現金及び預金が5,239百万円減少したことによるものであります。固定資産は36,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,423百万円増加しました。

この結果、総資産は、245,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,859百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は52,808百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,636百万円減少しました。これは主に賞与引当金が1,277百万円及びその他の流動負債が1,880百万円減少したことによるものであります。固定負債は7,239百万円となり、前連結会計年度末に比べ729百万円増加しました。

この結果、負債合計は、60,047百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,907百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は185,671百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,767百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益8,368百万円、剰余金の配当4,882百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は75.3%（前連結会計年度末は74.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、欧米における家庭用ゲーム機向けソフト市場の競争激化・上位集中が進む一方、スマートフォン、タブレットPC等の所謂スマートデバイスが急速に普及するなど、大きな変革期にあります。当社は、このような環境変化に対応したコンテンツ開発と収益機会の多様化を図ることによって、強固な収益基盤を確立する取り組みを進めております。

なお、かかる事業環境の変化に伴い、売上・損益の変動がより大きくなることが想定されるため、レンジによる連結業績予想を採用しております。また、期中における売上・損益の変動も大きくなっていることを踏まえ、第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、開示しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	129,364	124,124
受取手形及び売掛金	26,053	25,593
商品及び製品	2,820	4,143
仕掛品	11	238
原材料及び貯蔵品	302	322
コンテンツ制作勘定	34,548	41,602
その他	16,252	13,807
貸倒引当金	△314	△358
流動資産合計	209,038	209,474
固定資産		
有形固定資産	14,234	14,303
無形固定資産	4,735	4,860
投資その他の資産	15,850	17,080
固定資産合計	34,820	36,244
資産合計	243,859	245,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,220	13,350
短期借入金	8,437	8,747
未払法人税等	1,665	2,871
賞与引当金	2,358	1,081
返品調整引当金	6,197	6,084
店舗閉鎖損失引当金	64	63
資産除去債務	17	7
その他	22,482	20,602
流動負債合計	55,445	52,808
固定負債		
役員退職慰労引当金	88	88
店舗閉鎖損失引当金	83	72
退職給付に係る負債	2,546	2,594
資産除去債務	2,450	2,458
その他	1,340	2,024
固定負債合計	6,510	7,239
負債合計	61,955	60,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,828	23,836
資本剰余金	53,067	53,076
利益剰余金	109,764	113,250
自己株式	△897	△900
株主資本合計	185,763	189,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	364	425
為替換算調整勘定	△4,640	△4,459
退職給付に係る調整累計額	△165	△161
その他の包括利益累計額合計	△4,440	△4,195
新株予約権	453	472
非支配株主持分	128	131
純資産合計	181,904	185,671
負債純資産合計	243,859	245,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	51,193	57,000
売上原価	24,680	24,784
売上総利益	26,512	32,216
返品調整引当金戻入額	3,204	6,156
返品調整引当金繰入額	2,675	6,054
差引売上総利益	27,041	32,318
販売費及び一般管理費	18,092	19,443
営業利益	8,949	12,874
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	0	3
為替差益	—	276
雑収入	33	138
営業外収益合計	47	431
営業外費用		
支払利息	17	18
支払手数料	3	1
為替差損	2,520	—
雑損失	9	0
営業外費用合計	2,550	20
経常利益	6,446	13,286
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	20	13
減損損失	1	0
関係会社株式売却損	—	371
その他	4	—
特別損失合計	26	387
税金等調整前四半期純利益	6,420	12,898
法人税、住民税及び事業税	791	3,001
法人税等調整額	291	1,522
法人税等合計	1,082	4,523
四半期純利益	5,337	8,375
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,336	8,368

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	5,337	8,375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	61
為替換算調整勘定	△1,838	177
退職給付に係る調整額	34	3
その他の包括利益合計	△1,738	241
四半期包括利益	3,598	8,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,639	8,613
非支配株主に係る四半期包括利益	△40	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテイン メント 事業	アミューズ メント 事業	出版 事業	ライツ・プ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	37,541	10,351	2,242	1,057	51,193	—	51,193
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	11	361	372	△372	—
計	37,541	10,351	2,253	1,418	51,565	△372	51,193
セグメント利益	9,472	831	530	560	11,394	△2,445	8,949

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,445百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△2,453百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルエン ターテイン メント 事業	アミューズ メント 事業	出版 事業	ライツ・プ ロパティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	44,168	8,986	2,281	1,564	57,000	—	57,000
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	1	17	595	615	△615	—
計	44,168	8,988	2,298	2,159	57,615	△615	57,000
セグメント利益	13,724	659	563	584	15,530	△2,656	12,874

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,656百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費△2,663百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。